

下水道局だより

平成28年度下水道事業会計決算

平成29年11月16日発行
下水道局

☎239-1030 FAX 239-1037

下水道事業は、平成27年度から民間の企業会計原則の考え方を取り入れた地方公営企業法適用会計を導入しています。また、下水道使用料などで運営されている下水道事業の効率化を図り、下

水道普及率向上に向けた下水道の整備、維持管理に取り組んでいます。今回は、平成28年度下水道事業会計決算(第3回市議会定例会で認定)についてお知らせします。

主な事業と業務量の概要

主な事業

汚水整備(処理区名)	整備面積	工事内容
雲出川左岸処理区	18.6ha	開削工3,955m、推進工8m
志登茂川処理区	5.5ha	開削工1,972m、推進工310m
松阪処理区	2.2ha	開削工205m
椋本処理区	1.6ha	開削工308m、推進工13m
雨水整備	延長	工事内容
管きよ整備	801.4m	開削工482.2m、推進工319.2m

業務量の概要(平成29年3月31日現在)

行政区域内人口(A)	28万 710人
処理区域内人口(B)	13万 34人
水洗化人口	11万3,859人
普及率(B)/(A)	46.32%
汚水処理水量 (1日平均)	1,578万6,876m ³ (4万3,252m ³)
有収水量 (1日平均)	1,288万8,855m ³ (3万5,312m ³)

収支の状況

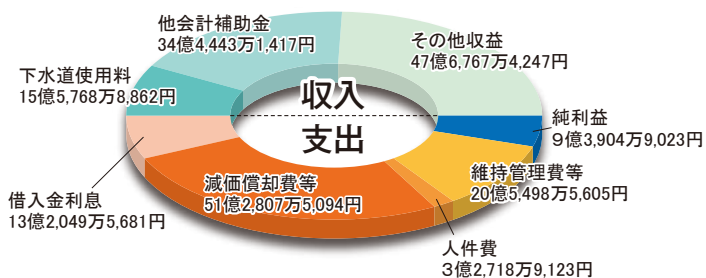
下水道事業会計の収支は、経常的な収支を表す収益的収支と投資的な収支を表す資本的収支の2種類に分けられます。

収益的収支は、下水道事業収益が97億6,979万4,526円、下水道事業費用が88億3,074万5,503円で、収支差引9億3,904万9,023円の純利益が生じていますが、この利益により当年度資本的収支の不足額を補てんしています。また、営業費用(事業活動のために生じる費用)に対して営業収益(営業活動から生じる利益)が大幅に不足することから、一般会計からの繰入金(他会計補助金)により事業運営を行っている状況で、今後も一般会計からの繰入金に依存する厳しい経営状況が続きます。

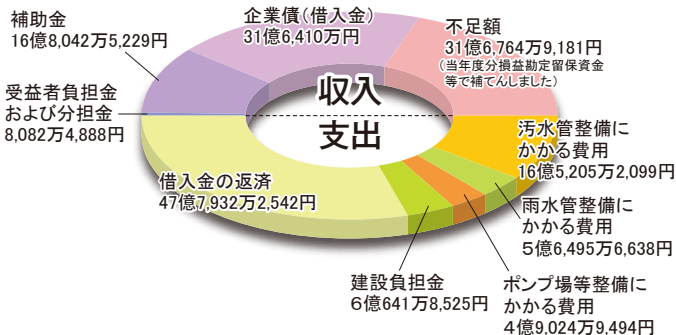


平成30年4月供用開始予定の志登茂川浄化センター

収益的収支



資本的収支



収益的収入	97億6,979万4,526円
収益的支出	88億3,074万5,503円
純利益	9億3,904万9,023円

資本的収入	49億2,535万 117円
資本的支出	80億9,299万9,298円
収支差引	△31億6,764万9,181円

※税抜き

※税抜き、△はマイナスを表す